



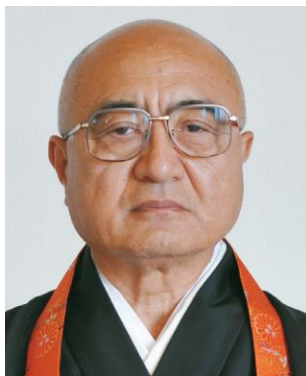
天台スカウト・ニュース

No. 1 7

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内
天台スカウトWEBホームページ：<http://www.tendai-scout.jp>



発行日：令和6年1月1日



天台宗スカウト連合協議会
理事長
源田 俊昭

新春を迎え、あけましておめでとうございます。

去年は、伝教大師の「努めよ・努めよ」のお言葉を胸に開催した「第10回天台キャンポリー」は、全国各地から約300名のスカウトが参加し、友情を深め合い、燃え盛る炎の下でのキャンプファイヤー、また、比叡山延暦寺大講堂において、厳粛な中にもスカウトらしい音楽法要が執り行われました。

新型コロナウイルス感染症対策により、スカウト達は野外活動を制約された中での開催となりましたが、天台宗をはじめ延暦寺、多数の指導者および関係各位のご協力の下、盛大に開催できましたことに深甚なる感謝を申し上げます。

さて、ビーバースカウト・カブスカウト・ボーイスカウト・ベンチャースカウト・ローバースカウト及び指導者の皆さん。こんな諺（ことわざ）があります「一年の計は元旦にあり」と。

昨年5月より新型コロナウイルス感染症対策が大幅に解除され、ボーイスカウト運動の創始者ロバート・ベーデン＝パウエル卿（以下、B・P）が唱えられた「スカウトの教場は野外である」の実践活動に取り組めるようになりました。

本年スカウトの皆さんには「3つの誓い」「7つの掟」をベースに「己を忘れて他を利する」スカウトとなるために進級章・技能章・宗教章・富士章の取得に是非とも挑戦してください。

最後に指導者の皆さんにはB・Pの著書『スカウティングフォアボーイズ』内の「B・Pの最後のメッセージ」と伝教大師最澄さまの『山家学生式』を共に読み・理解していただき、積極的に行動できるスカウト達の育成と、社会貢献の一環としてスカウト運動を盛り上げようではありませんか。

また、私達の未来を託する青少年育成に邁進しようではありませんか。

弥 栄

第10回天台キャンポリー実施報告

開催：令和5年7月22日～24日会場：比叡山延暦寺・比良げんき村

令和5年7月22～24日に2泊3日の日程で比叡山延暦寺を主会場に、比良げんき村を宿营地とした第10回天台キャンポリー（以下：大会）が開催され、天台宗スカウト所属の全10団と浅草寺団（台東第7団）が参加し、全参加者270余名の規模で実施しました。

当初の計画では、伝教大師一千二百年大遠忌期間中の令和3年に開催する筈でしたが、コロナ感染症流行の影響で大会計画が繰り延べとなりました。その後、令和4年秋頃から感染症流行の勢いが弱まったのを受け、本年実施の見通しを立てて、実行委員会を幾度か重ね開催に至った次第です。

初日の7月22日はカラッとした夏空のもと全国各地からスカウト達が比良げんき村に集合し、到着後早速にテントを設営。暑さを避けるために結団式は夕方4時からとしたのですが、制服姿のスカウト達を照らす西日は強く、暑さを我慢しながら大会中の安全を共に祈りました。また今回は初めての試みとしてキャンプファイヤーを大会初日に行いました。大会が始まって直ぐのキャンプファイヤーなんて少し違和感がありましたが行ってみると、スカウト達はスタンツやゲームで初日から打ち解けて、団の垣根を超えて距離感がグッと近くなったようで、思わぬ良い効果がありました。

2日目はスカウト全員で延暦寺に登り、午前中は大講堂で阿部昌宏宗務総長・水尾寂芳延暦寺執行にもご出席いただき、大津第12団鼓笛隊の演奏に導かれた音楽法要を厳修し、最澄様に今回大会の実施をご報告しました。午後からは諸堂を巡る集印ハイクを行って比叡山の自然と歴史に親しむプログラムを楽しみました。

3日間、酷暑の中での大会でしたが、事故や体調を崩すスカウトも無く、閉会式では4～5年後の次回大会の時に、比叡山で再会することを約束して無事に大会を終了しました。



①③初日夕刻に行った結団式。②2日目、音楽法要後の記念写真。前回（H29）を上回る270名が参加。④キャンプファイヤー。⑤⑥⑦大講堂での音楽法要。⑧延暦寺境内での集印ハイク。⑨あるキャンプサイトの様子。



第25回世界スカウトジャンボリー 参加報告

2023年8月に韓国で開催された第25回世界スカウトジャンボリーに、東久留米第2団（天台14団）から渡邊匠登スカウトと、澤あや子ビーバー隊長が参加しました。帰国後、富田東久留米市長を表敬訪問し、「様々な予定外の事があっても、世界のスカウト達と交流でき、世界を肌で感じるような経験ができたので、今後はこの経験を生かせるようなスカウト活動を継続していきたいです（渡邊スカウト）」、「台風などの影響もあり、予定通りの活動ができない部分もありましたが、スカウトたちは世界のスカウトと交流することができ、とても良い経験になったと思います（澤隊長）」と報告を行いました。なお、台風直撃により日本派遣団約1,600名は全員が大韓仏教天台宗総本山の救仁寺に避難し、大変お世話になったということです。



左から 澤あや子BVS隊長、富田竜馬東久留米市長、渡邊匠登スカウト、大村悦久BS副長、菅沼法子副団委員長

ボーイスカウト加古川第2団 （天台ボーイスカウト第8団）のご紹介

ボーイスカウト加古川第2団は、兵庫県加古川市の刀田山鶴林寺を本部として1967年に発団し、現在はスカウト45名・指導者24名・団委員10名からなる地域の元気団として活躍しています。

聖徳太子さまが1400年前に創建された国宝・重要文化財の立ち並ぶ恵まれた環境の中で、天台スカウトとして月1回の日曜礼拝を欠かさず、社会奉仕活動やキャンプなどを積極的に行っています。

春休みに中学生以上のスカウトが挑戦する加古川・舞鶴間（京都府）の往復260kmクロスカントリーは、自転車・徒歩等で踏破を目指す50年以上の伝統行事になっています。この経験を活かし発団40周年にはご本山の不滅の法灯を加古川まで徒歩でリレーし鶴林寺にお迎えしました。

これから60周年・100周年を迎えるに当たり、スカウト活動の目的である「社会の人材育成」と伝教大師様の「照千一隅」、聖徳太子さまの「以和為貴」の精神を実践する場として、ますます子供たちと社会を明るくする活動ができるよう頑張っていきます。



第40期天台宗仏教章第2教程講習会のお知らせ

日時：令和6年3月26日（火）13：30 ～ 28日（木）12：00

場所：比叡山延暦寺 延暦寺会館

天台宗において仏教章を取得しようとするスカウトは、天台宗仏教章授与基準に基づいた学習および実践が必要であり、必ずこの講習会を履修しなければなりません。

受講資格：

1、対象者

- ①中学生以上のボーイスカウト ③ローバースカウト
- ②ベンチャースカウト ④ガールスカウトはレンジヤースカウト

2、条件

- ①天台宗の教えに篤い信仰の心を持っていること ③天台宗寺院が育成する団に所属していること
- ②自宅の菩提寺が天台宗であること ④天台宗僧侶の指導を受けていること
- ※①～④のいずれかを満たすこと

3、第1教程の課程を修了していること

4、深夜から行う回峰行（比叡山中約30km徒歩）を実践できること

※詳細は令和6年1月中に天台スカウトWEBホームページと天台宗各団宛にご案内いたします。



勤行の様子



仏教讃歌の実習



食時の様子



夜間に行う回峰行

天台宗スカウト連合協議会役員名簿

任期：令和3年～令和5年

理事長：源 田 俊 昭（足利第1団）
 副理事長：吉 川 廣 隆（村岡第1団）
 常任理事：山 本 健 二（大津第12団）
 ：當 麻 泰（東京都第150団）
 ：小 鴨 覚 俊（大津第12団）
 ：葉 上 彰 保（浅口第3団）
 ：神 原 彰 仁（倉敷第14団）
 ：多 田 孝 元（秦野第1団）
 ：幹 敬 盛（加古川第2団）
 ：赤 松 久美子（滋賀県第14団）
 ：當 麻 好 教（東久留米第2団）

理 事：源 田 俊 道（足利第1団）
 ：山 本 哲（大津第12団）
 ：池 澤 榮次郎（加古川第2団）
 ：増 渕 俊 哉（秦野第1団）
 ：山 本 典 子（東京都第150団）
 顧問：小 堀 光 實（大津第12団）
 相談役：寺 本 亮 洞（東久留米第2団）
 監 事：船 戸 俊 宏（天台宗財務部長）
 ：中 島 隆 乗（延暦寺教化部長）